

専徳寺報

第413号

平成26年9月12日発行

浄土真宗本願寺派
専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索

ついたち礼拝(月のはじまりをお寺から) 10月1日(水)・11月1日(土)

秋讃仏会(彼岸会)法要

併修戦没者追悼法要

御案内

秋のお彼岸をご縁に讃仏会法要をつとめます。にぎにぎしくご参詣ください。

日時

9月26日(金)

昼 1時30分～3時30分

夜 19時30分～21時

27日(土)

昼 (ご満座)

1時30分～3時30分

ご講師

本願寺輔教 成

照星師 (太宰府市)

●法座奉仕：通津上地区(松崎・山田・本呂尾・畑・湯屋ヶ迫・ハイランド・浪の浦)

※ご満座後の片づけをお願いいたします。

●戦没者追悼法要 26日昼座

戦没者を追悼し、ご遺族の焼香があります。

●参拝セット(念珠・聖典・式章・聴聞カード)をお持ちください。

●作品募集―秋の展示会

今年も絵画・手芸品・工芸品等、皆様の作品を本堂(庫裏)に展示いたします。ふるつてご参加ください。

法要前日までにお持ちください。

※11月の法要まで展示



如来・人・言葉 99

テレーツと聞いて忘れて帰る

「必ず救う」という仏さま。「参らなければ救わん」という親さまではない。

「曠劫よりこのかた追いかけてきたぞ。お前は一ぺんだって参ってきたことはなかったけど俺は追いかけてきたぞ。参らんお前を救うぞよ」というのが信心のはなし。

それなら何しに参るか。ある所でこういう事がありましたよ。

「今度のご講師はとぼけちよる。説教に参らんでも救うげな、参ってもテレーツと聞いて忘れて帰りやあええげな。とぼけちよる」

「そんなら参らんでも救われるか。『あたり前のこと、参らんでも救われるぞよ』ちゅう説教じゃったから私じゃ参らん」と言うて三日目の朝、三つ電話があつたそうです。

ちよつと頭を整理しないとわからんですよ。ある人が葉書を出した。

「福岡市西区〇〇〇〇さま

残暑お見舞い申し上げます。

近頃西区は三つに別れたそうですから、以前は西区でありましたが、今は貴方の所は西区でないかもしれません。

そうすると、この葉書は着かないかも知れません。着かない時は折り返し、正しい住所をお知らせください。おかしいでしょ。何がおかしいか。着いた時しかこの葉書は読まれないんです。

「参らん者をも救うぞよ」というお慈悲を、参ってお聴

午前9時より45分間

聞するのであります。何しに参るかといえ、
ご恩報謝おんほうしゃであります。

この間、質問があった。

孫が「ばあちゃんの意味は寺参り」と言う
た。どうもじっくりせんというお尋ね。

お寺参りが趣味というのはどうもじっくり
せん。やっぱりちよつとしつくりせんですね。

しかしやっぱりそりゃあいけません。やっ
ぱり趣味ですよ。みなさんがお説教を聞いて

いて、「お説教ちゆうものは命がけで聞いて
おたすけに預かるものじゃ」と思うてはお

りませんか。それじゃあ一人もたすかりやあせ
ん。命がけで聞いた事はない。座布団の上

座つて、時々眠つとるのを命がけとは言わん。
説教というものは命がけで聞くものではな

い。テレエツと聞いておけばきこえてくる。
親さまの命がけがきこえてくる。親さまの命

がけで救われるのに、どうしてこつちが命が
けにならにやあならんのか。

たすかりぶりのお話しではありません。お
たすけぶりのお話しです。たすけてもらう方
はそのままだです。

〔深川倫雄和上講話集「仏力を談ず」より〕

毎年ご出講くださった深川和上。ご往生

されてまもなく三回忌です。「ここ（本堂）

はご法義の極上の温泉です……」。淡々
と他方の法義を説いてくださった面影懐
かしく。
（住職）

専徳寺納骨堂受付中

寺内だより

み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕

8月6日御往生

新町 吉柴 茂様 (66)

喪主 吉柴 伸一様

9月5日御往生

保津 岡部 誠様 (65)

喪主 岡部美代子様

ご恩を偲びつつ

〔法事勤修〕(8月1日〜31日)

〔通津〕野上ヤツ子1、広中敏子3、高橋千賀子3、

〔保津〕土井忠臣33、平中哲夫7、〔青木〕広重道

明13、末次千鶴子1、〔海土路〕林初男13、〔由宇〕

島田義昭1・3、〔周東〕津村昌宏25、〔山口〕高

嶋麗子3、〔東京〕大倉育信1

●一泊合宿 (8月6日・8月7日)

今年、龍大の伝道部の学生や高校生・中学生が
手伝ってくれました。保護者の方もお手伝いあり
がとうございました。

【参加数】 38名

【内容】

科学クラフト

きもだめし

室内オリンピック



岸村進先生の科学クラフト

屋根修復懇志

この度の法座で154名の方がご懇志くださいまし
た。ありがとうございます。

ご報告いたします

岩国仏婦連絡会議 (8月25日 専徳寺)

【参加者】 河本多喜子

第15回岩国組少年少女のつどい

(8月31日 宗清寺〔関戸〕)

【内容】 キャンドル・ジオラマ作り・ながしソーメン

【参加者】 土井健生、弘中慈生、岡田崇史

次回の法要日程 (永代経法座)

【期日】 11月13・14日 (予定より一日早くなりま
した)

【講師】 服部法樹師

京都参拝旅行募集 (本廟分骨)

2年ぶりの参拝旅行、ご参加お待ちしております
おります。

【期日】 11月16・17日 (日・月)

【費用】 5万5千円、

【戻切り】 10月15日



歓喜会法要余香 (8月30日・31日)

【講師】 篠原信昭師 【参詣数】 (28日) 昼座16名、
夜座26名、(29日) 昼座82名 【お鉢米】 中崎清人、
仏婦理事様、法要総代様有り難うございました。